

第6回民営化した保育所の保育内容等検証委員会

日時 平成19年11月27日(火)17:30～

場所 福岡市役所15階 1503会議室

- 次 第 -

1 開 会

2 議 題

(1) 検証結果報告書案について

3 閉 会

(案)

民営化した保育所の保育内容等
検証結果報告書

平成 19 年 11 月

民営化した保育所の保育内容等検証委員会

《 目 次 》

検証の視点・検証の方法

- | | |
|---------------|-----|
| 1 検証の視点 | P 1 |
| 2 検証の方法 | P 1 |
| 3 検証の対象となる保育所 | P 3 |

検証の結果

- | | |
|----------|-----|
| 1 板付保育園 | P 4 |
| 2 東住吉保育園 | P 5 |
| 3 飯盛保育園 | P 6 |
| 4 隅田保育園 | P 7 |
| 5 総 評 | P 8 |
| 6 付 記 | P 9 |

【資料編】

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 資料 1 福祉サービス第三者評価結果 | P 1 0 |
| 資料 2 「民営化した保育所の保育内容等検証委員会」設置要綱 | P 3 5 |
| 資料 3 「民営化した保育所の保育内容等検証委員会」委員名簿 | P 3 6 |
| 資料 4 「民営化した保育所の保育内容等検証委員会」開催状況 | P 3 6 |

検証の視点・検証の方法

1 検証の視点

公立保育所の民営化については、「民間に移行することにより保育の質が低下するのでは」など、保護者の不安もあるとの観点から、既に民営化した保育所の保育の実施状況等を調査し、現在の保育が適切に行われているか検証を行いました。

2 検証の方法

(1) 検証委員会による現地調査

民営化後の保育状況等を把握するために、検証委員会委員が民営化した保育所を訪問し、民営化後から現在までの保育における課題やその対応などについて、施設長、主任保育士及び保護者へのヒアリングを行いました。

施設長及び保育士等ヒアリング項目

- ・ 保育所運営全般における、意見感想等
- ・ 保育所運営全般において、気になっていることや問題に思っていること
- ・ 保育所運営全般において、工夫していることや気をつけていること
- ・ 保護者との交流や連携、コミュニケーションの取り方
- ・ 民営化に際して（気をつけた点、実際に起こった問題、その対応など）

保護者ヒアリング項目

- ・ 現在の保育についての意見感想等
- ・ 民営化について思っていた不安
- ・ 不安に思っていたことについて、どうだったか
- ・ 現在の保育において良いと思うところや優れていると思うところ
- ・ 保育において気になっていることや問題に思っていること(不安や不満等)
- ・ 保育士との交流や連携、コミュニケーション
- ・ これからの保育について、運営法人に対し求めるもの

現地調査日

調査日	保育所	
平成19年8月25日	飯盛保育園	隅田保育園
平成19年9月22日	板付保育園	東住吉保育園

(2) 福祉サービス第三者評価の受審

保育への取り組み方やサービス提供体制の整備状況など、具体的な保育内容について検証を行うために、福祉サービス第三者評価（以下「第三者評価」という）を受審しました。

調査機関 社団法人全国保育士養成協議会

評価項目

評価の基本的視点である6つの「評価対象」と、対象を機能別に分類した14の「評価分類」、分類についての具体的な項目を示す67の「評価項目」で構成。

評価対象	評価分類	項目数
福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	3
	施設長の責任とリーダーシップ	2
組織の運営管理	人材の確保・養成	6
	地域や関係機関との連携	9
適切なサービスの実施	利用者本位のサービス	5
	サービスの質の確保	7
	サービス実施計画の策定	1
子どもの発達援助	子どもの発達援助の基本	2
	健康管理・食事	8
	保育環境	2
	保育内容	11
子育て支援	入所児童の保護者の育児支援	5
	地域の子育て支援	1
安全・事故防止	安全・事故防止	5

調査内容

・訪問調査

評価調査チームが保育所を訪問し、保育所職員へのヒアリングと日常的な活動の観察を、1日（登園時から降園時まで）を通して調査を行いました。

・利用者アンケート

保育所の全利用者（保護者）に、保育所で情報提供などコミュニケーションが十分とられているか、日頃、守秘義務がきちんと守られているか、また、保育所に対する満足度などについてのアンケートを行いました。

質問 29 項目（保育所について 17 項目、満足度 12 項目）

訪問調査日

	板付保育園	東住吉保育園	飯盛保育園	隅田保育園
調査日	9月5日	9月19日	9月18日	9月4日

3 検証の対象となる保育所

施設名	板付保育園	東住吉保育園
所在地	博多区諸岡5丁目	博多区博多駅南2丁目
移管年月	平成17年4月	平成18年4月
法人名	社会福祉法人 真和会	社会福祉法人 佳陽会
代表者	真野 絹代	上野 佳津子
施設長	同上	同上

施設名	飯盛保育園	隅田保育園
所在地	西区飯盛	博多区西月隈5丁目
移管年月	平成18年4月	平成19年4月
法人名	社会福祉法人 隆美会	社会福祉法人 福笑会
代表者	田中 恵美子	木林 純子
施設長	同上	同上

検証の結果

1 板付保育園

(1) 保育環境・子どもの様子

緑が多く広い園庭があり、自然環境に恵まれた場所に位置している。現在、園舎の建て替え工事中であったが、安全性はしっかり確保されていた。

子どもたちは、砂場や遊具などで自由にのびのびと遊んでいた。職員が適切な位置で子どもの遊びを見守り、子どもからの働きかけにも答えており、職員の対応の適切さが伺えた。

保育環境及び子どもの様子については、特に問題がないと評価できる。

(2) 保育所運営全般

民営化までの時間が短かったこともあり、保育所の運営に関して、民営化後の1年目は苦労があったものと推測される。しかし、園長がリーダーシップを取り、「一人ひとりの子どもを大切に」という保育理念のもと、保育の質を下げないための努力がなされており、今は落ち着いている。園内研修、保育協会による研修の他に、理事会の助言のもとに、保育士一人ひとりの特技を伸ばす自己研鑽の機会を設けるなど、保育者の専門性を高めている。

また、保育については、基本的に公立の時の行事などを踏襲し、これまでの保育の継続性を重視している。あわせて保育内容や方法を検討し、改良していく方向性を持っている。

これらのことから、保育所運営全般については、適切な運営がなされていると評価できる。

(3) 保育内容

民営化当初は、保育士の動揺が強かったようである。そのため、子どもへの影響も否めないが、現在の保育状況は、良好であるとの印象を受けた。

保護者からの意見聴取において、「民営化後に保育の質が向上した」、「公立の時に板付保育所を見学して、民間保育所に行った人が、民営化されて戻ってきた例がある」といった意見もあるように、民営化による保育の質の変化への不安が解消されている。このことは、第三者評価からも伺える。

地域行事への参加や地域との交流保育の導入など、新たな保育の展開も見られ、また、障がい児保育についても適切な対応、積極的な取り組みがなされている。

以上のことから、保育内容については適切な水準にあると評価できる。

(4) 保育所職員と保護者との関係

民営化当初は、職員と保護者とのコミュニケーションが十分に機能していない部分もあったようだが、現在は、お互いに忌憚なく意見交換が行われており、保護者会と一緒にやって行事を作り上げている。また、保育士の努力や懸命さが評価されている。

以上のことから、職員と保護者との信頼関係が形成されてきていると評価できる。

2 東住吉保育園

(1) 保育環境・子どもの様子

博多駅近隣の都心部にもかかわらず、騒音も少なく静かな環境に位置している。施設は、園庭がやや狭いが、隣接の公園でも遊ぶことができるため、子どもの遊びには支障がないものと思われた。園舎の老朽化は否めないが、室内は整理整頓されており、清潔性が保たれていた。また、掲示物などの環境整備にも工夫が見られた。

子どもたちは、午睡中であつたため、あまり見ることはできなかったが、第三者評価の結果において、年齢に応じた段階的な工夫や指導がなされており楽しく過ごしている様子が伺えた。

保育環境及び子どもの様子については、特に問題がないと評価できる。

(2) 保育所運営全般

保育については、スムーズな運営がなされるように、基本的に公立の時の行事などを踏襲するとともに、延長保育の手続きを改善し保護者の利便性の向上を図っている。

また、保護者会が実施したアンケートに対し、保育所としての対応を文書で回答することにより、保護者の理解に努めている。しかしながら、保護者からは運営についての一定程度の努力が認められてはいるものの、十分な理解が得られていない側面がある。

以上のことから、第三者評価においては一定の評価を得ているものの、運営については、保護者とのコミュニケーションのあり方などに課題が残されている。

(3) 保育内容

公立の時にはできなかったお泊り保育を行うなど、新たな取り組みも行っている。

公立の時の保育や行事等を踏襲し、地域の伝統行事に接する事が出来るような園外保育も実施している。

また、第三者評価では一定の評価がなされていることから、保育内容においては一定の水準にあると評価できる。

(4) 保育所職員と保護者との関係

園長との関係について、保護者からは、建前的な回答や話し合いだけという印象があるため、信頼関係が形成されにくい状況にある。このことは、さらに保護者との率直な意見交換を行うことの妨げとなっている。

保育士との関係については、保護者には、若い保育士に対する経験不足ゆえの多少の不安はあるものの、懸命な姿も伺えるという認識があり、ある程度良好な関係にあると思われる。しかしながら、特定の保育士に対する不満も表明された。

また、一部の保護者からは、職員間のチームワークや雰囲気の問題があると受け取られており、これらのことが保育内容についての懸念につながっているものと思われる。

以上のことから、職員間の連携、職員と保護者とのコミュニケーションに課題が認められる。

3 飯盛保育園

(1) 保育環境・子どもの様子

自然環境に恵まれた中に施設があり、田植えや稲刈り、芋掘りなど地域と一体となった行事が行われており、地域密着型の保育所となっている。

園舎は手狭で老朽化は否めないが、室内は清掃が行き届いており、清潔性が保たれていた。また、保育用具（色鉛筆、クレヨン）なども機能的に配置されており、整理整頓されていた。

子どもたちは、調査者の問いかけにも明るく応答し、自分のことについても気軽に話すなど、素直でのびのびと過ごしている様子が伺えた。

保育環境及び子どもの様子については、特に問題がないと評価できる。

(2) 保育所運営全般

園長の保育理念や考え方が明確であり、園長のリーダーシップとともに柔軟な姿勢が感じられた。民営化当初は、自らの保育方針について保護者の理解を得ることが困難であったようである。しかしながら、保護者からの要望を受け止め、子どもや保護者の状態を丁寧に見て軌道修正していく姿勢により、現在は相互理解がなされている。

一方、第三者評価では、組織の運営管理についての文書化の課題が指摘されているが、園長と職員、職員同士の十分な連携がなされており、全体的に統一のとれた運営が行われている。

(3) 保育内容

公立の時の行事などを踏襲しつつ、交流保育や新たな保育プログラムが導入されており、「子どもが色々なことに取り組む姿勢が出てきた」、「子どもが保育園は楽しいと言って帰りがたがらない」、「公立の時にはなかった行事など、色々な経験をさせてもらっている」などの肯定的な回答に見られるように、これらの取り組みに保護者の理解も得られている。

これらのことは、子どもと保育者との信頼関係が育っていることの現れではないかと思われる。

以上のことから、保育内容については適切な水準にあると評価できる。

(4) 保育所職員と保護者との関係

保護者との「座談会」を開催し、対話重視を打ち出していることが、保護者の不安を和らげていると思われる。このような園長の積極的な姿勢・保護者との相互理解を図ろうとする気持ちや行動が、保護者からも理解され評価されている。

保育士については“話しかけやすい”、“相談しやすい”という雰囲気が保育所にあると保護者から評価されている。

以上のことから、職員と保護者との信頼関係が形成されてきていると評価できる。

4 隅田保育園

(1) 保育環境・子どもの様子

近くに川原や公園があり、自然環境に恵まれた場所に位置している。施設は、園庭がやや狭いが、隣接の公園でも遊ぶことができるため、保育、子どもの遊びには支障がないものと思われた。園舎の老朽化は否めないが、室内は整理整頓されており、保育スペースにはゆとりが感じられた。

1、2歳児で、午睡から目覚めてすぐにもかかわらず、機嫌よく活動しており、安定した保育者との関係が伺えた。

保育環境及び子どもの様子については、特に問題がないと評価できる。

(2) 保育所運営全般

民営化後5ヶ月であり、保護者との一時的なトラブルや、保育内容に対する保護者の戸惑い（余裕のなさ、落ち着きのなさ）があった。しかし、園長と主任及び保育士相互の緊密な連携や保育所と保護者との対話により、一つ一つ丁寧に問題を解決していかうとする姿勢が見られる。

第三者評価では、園外の関係機関の役割の理解や連携のあり方について、保育士全員に対する周知の課題が指摘されている。しかし、園長のリーダーシップのもとに、運営管理に関する明確な方針については徹底されている。

また、レスパイトサービスなどの取り組みを始めており、保護者の子育て支援への配慮も伺える。

これらのことから、保育所運営全般については、適切な運営がなされていると評価できる。

(3) 保育内容

給食に陶器の食器やお箸を使うなど、食育に対する保育所の取り組み姿勢が感じられた。

また、保育内容がやや学習的な内容に変わったが、結果的には、保護者から高い評価を受けている。

行事等については、新たに園外保育を導入するとともに、保護者からの提案による夕涼み会を実施したり、地域の運動会にも保育所として初めて参加するなど、多様な保育の取り組みがなされている。

以上のことから、保育内容については適切な水準にあると評価できる。

(4) 保育所職員と保護者との関係

当初は、学習的な保育の導入や園外保育等についての説明が必ずしも十分ではなく、保護者に戸惑いが見られた。しかし、保護者からの意見を真摯に受け止め、改善していかうとする柔軟な姿勢が示されており、保護者との良好な意思疎通が図られるようになってきている。

保育士と保護者の関係においては、一部の保育士に対しては、やや不安があることも表明されたが、園長及び主任保育士の補助や保護者のサポートにより、関係は好転してきている。

以上のことから、職員と保護者との信頼関係が形成されてきていると評価できる。

5 総 評

(1) 保育環境・子どもの様子

保育環境については、いずれの保育所も、恵まれた自然環境の中で保育が行われていた。園庭がやや狭い保育所もあるが、近隣の公園等を活用し、保育、子どもの遊びにも問題はないようであった。いずれも園舎の老朽化が見られるが、清掃も行き届いており、整理整頓されていた。

子どもの様子については、保育者と安定した関係であることが伺えた。

保育環境・子どもの様子については、いずれの保育所も特に問題がないと評価できる。

(2) 保育所運営全般

それぞれ保育所ごとの保育理念と方針のもと、保育の質を下げない努力がなされており、園内研修をはじめ自己研鑽の機会を設けるなど保育者の専門性を高めている。

保育所運営に関し、保護者との一時的なトラブルや認識の違いについては、対話により一つ一つ丁寧に問題を解決していこうという姿勢が見られる。しかし、一部の保育所では、保護者の十分な理解が得られていない側面があった。

以上のことから、保育所運営全般については、保護者とのコミュニケーションのあり方などに課題が見受けられる保育所もあるが、第三者評価においても一定の評価がなされており、全体的には一定の水準にあると評価できる。

(3) 保育内容

保育については、いずれの保育所も公立の時の保育内容を踏襲しているが、新たな保育プログラムも導入されており、これらの取り組みに保護者の理解も得られている。

行事等においても、公立の時の内容を踏襲しつつ、保護者会と合同での新たな試みや地域行事にも積極的に参加するなど、多様な保育の取り組みがなされている。

第三者評価においても、一定の評価がなされている。

以上のことから、保育内容については、一定の水準にあると評価できる。

(4) 保育所職員と保護者との関係

民営化当初は、職員と保護者とのコミュニケーションが十分に機能していない部分もあったようだが、現在は忌憚なく意見交換が行われ、相互理解が図られている。

保育士と保護者の関係においては、保育士の努力や懸命さが評価されている保育所や、話しやすい雰囲気があると評価されている保育所がある。一方、特定の保育士に対する不満が表明された保育所もあった。

以上のことから、職員間の連携、職員と保護者とのコミュニケーションに課題が残る保育所もあるが、全体的には、職員と保護者との信頼関係が形成されてきていると評価できる。

(5) 総括

本委員会は、すでに民営化された4か所の保育所について、「現在の保育が適切に行われているか」という視点により、保育内容等の検証を行ってきたところである。

委員による各保育所の現地調査及び第三者評価による項目ごとの評価は、前記(1)～(4)のとおりであり、職員間の連携、保護者とのコミュニケーションに課題が残る保育所もあるが、全体的に見れば、現在の保育内容等については、一定の水準にあると評価できる。

6 付 記

本検証委員会においては、「現在の保育が適切に行われているか」という視点で、既に民営化している保育所の保育内容等について検証を行ったものであり、保育内容については前述のとおりであるが、今回の検証において、民営化された保育所ならではの課題が感じられたところである。

それは、保育所の職員と保護者との対話のあり方に関する課題である。各保育所の移管の経緯や期間は異なっているが、どの保育所も、移管当初に多かれ少なかれ相互理解が図りにくい雰囲気等があり、それが信頼関係の形成の妨げとなっている事象が見受けられた。

これらの解決に向けて、行政からのより一層のサポート等により相互理解を進めていただきたい。

以上のことを、報告書のまとめにあたって検証委員会の意見として、付記することとする。

資料3 「民営化した保育所の保育内容等検証委員会」委員名簿

氏名	所属等
笠原 正洋（副座長）	中村学園大学 人間発達学科准教授
波多江 愛子	福岡県弁護士会・弁護士
針塚 進（座長）	九州大学大学院 人間科学部門教授
藤村 文彬	福岡市民生委員・児童委員協議会会長
森田 さゆり	福岡県保育所連盟保育士会副会長

五十音順

資料4 検証委員会の開催状況

7月27日	第1回検証委員会	民営化した保育所の検証について
8月10日	第2回検証委員会	現地調査について
8月25日	第3回検証委員会	飯盛保育園、隅田保育園現地調査
9月22日	第4回検証委員会	板付保育園、東住吉保育園現地調査
11月20日	第5回検証委員会	現地調査結果・福祉サービス第三者評価結果について
11月27日	第6回検証委員会	検証結果報告書案審議